

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 5 年度第 2 回上尾市総合教育会議	
開 催 日 時	令和 6 年 2 月 7 日 (水) 午前 10 時 30 分～11 時 40 分	
開 催 場 所	市役所本庁舎 3 階 庁議室	
議長(委員長・会長)氏名	畠山 稔 (市長)	
出席者(委員)氏名	教育長 西倉 剛 教育長職務代理者 大塚 崇行 教育委員 内田 みどり 教育委員 小池 智司 教育委員 谷島 大 教育委員 矢野 誠二 教育総務部長 小田川 史明 学校教育部長 瀧澤 誠 教育総務部次長 谷川 義哉 学校教育部次長 黒田 正司 教育総務課長 池田 直隆 学務課長 田中 栄次郎 指導課長 武田 直美	
欠席者(委員)氏名		
事務局(庶務担当)	市長政策室長 柳下 貴之、同次長兼秘書政策課長 柴 幸輝 秘書政策課主査 黒須 卓見、同主任 渡辺 拓郎	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 令和 6 年度の事業の展望について (2) 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた緊急対策等について	報告・説明と質疑応答 報告・説明と質疑応答
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 6 名
会 議 資 料	別添のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和 6 年 2 月 27 日</p> <p style="text-align: right;">議長(委員長・会長)の署名 _____ 畠山 稔 (※原本は自署)</p> <p style="text-align: right;">議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
司会（市長政策室長）	<p>皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>只今から、令和5年度第2回上尾市総合教育会議を開会させていただきます。私は本日の進行を務めさせていただきます、市長政策室長の柳下と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは初めに、本会議の設置者であります畠山市長から挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>教育委員の皆様には、日々上尾の教育の発展のためにご尽力をいただきまして心から感謝申し上げます。</p> <p>さて、本日は今年度2回目の総合教育会議となります。議題は「令和6年度の事業の展望について」と「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた緊急対策等について」でございます。</p> <p>現代は、デジタル化、少子高齢化、グローバル化、エネルギー・環境問題など社会構造が劇的に変化しており、教育においても既存のシステムや考え方が大きく変わってきていると言われております。</p> <p>1つめのテーマである「令和6年度の事業の展望」につきましては、それら社会構造の変化に対応すべく、来年度に向けた新たな取り組みについて、意見交換を行い、今後の参考にさせていただきたいと考えております。</p> <p>2つめのテーマについては、生徒指導上のさまざまな課題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に行われている調査をもとに、認識の共有及び対策の検討を進めることにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見及び適切な支援を、より一層充実させていきたいと考えております。</p> <p>忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。</p>
司会（市長政策室長）	<p>ありがとうございました。それでは、早速ですが要綱の定めにより議事を進行させていただきます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>初めに、本会議の公開についてでございますが、本会議は原則公開となっております。</p> <p>特定の個人を識別することができるものや、公にすることにより、個人の権利利益を害するおそれがあるものなどの発言には十分ご注意くださいよう、重ねてお願いいたします。</p> <p>本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>傍聴者が6名いらっしゃいます。</p>

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>只今から傍聴者に入場していただきます。事務局は傍聴者を入場させてください。</p> <p>傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。先ほどお配りしました「傍聴にあたっての注意事項」をよくお読みいただいたと思いますが、遵守の方ご協力をお願いいたします。注意事項に反することがあった場合には退場していただく場合がありますので宜しくお願い致します。</p> <p>それでは、議題1「令和6年度の事業の展望について」に移ります。今年度も残すところ2ヶ月を切り節分も終わり、スーパーには四季を表す4色を袋に入れたひなあられが並びだしたところでございます。そこで今回は今年度を振り返りまして、来年度に向けての課題や展望について、教育総務部・学校教育部からそれぞれご説明をいただければと思います。</p> <p>それでは、教育総務部の方からお願いいたします。</p>
<p>教委事務局（教育総務部長）</p>	<p>教育総務部の令和6年度からの課題や展望についてでございますが、令和5年度から民間スイミングスクールを活用した水泳授業モデル事業を小学校3校、中学校1校で実施しているところでございます。</p> <p>この事業の実施後、児童生徒・保護者・教員・事業者に対してアンケート調査を行い、その結果としては、天候に左右されない計画的な水泳授業の実施や専門的な水泳指導による泳力向上、維持管理に係る教員の負担軽減が図られるなど、児童生徒、保護者、教員の意見からも大変好評であり、教育的な効果が非常に高いことが確認できましたことから、来年度はさらに拡充していきたいと考えております。</p> <p>また、自然学習館の展示室の一部を国重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」をはじめとした、上尾の自然、歴史及び文化を紹介する展示内容に改修を行い、新たに「摘田と上尾の歴史・文化」コーナーとしてリニューアルし、昨年12月24日にセレモニーを開催いたしました。上尾の歴史・魅力を更に発信できるものと思います。</p> <p>学校施設更新計画につきましては、令和5年3月に改定した「上尾市学校施設更新基本計画」で定めた基本的な考え方のもと、計画的な学校施設の更新を目的として、更新の実施手法及び実施行程を定める「上尾市学校施設更新計画実施計画」を今年度中に定め、新しい時代の学びにふさわしい学校を目指し、計画的・効率的な学校施設の更新を推進してまいります。教育総務部からは以上でございます。</p>
<p>司会（市長政策室長） 教委事務局（学校教育部）</p>	<p>学校教育部お願いいたします。</p> <p>学校教育部といたしましては、まずはデジタル採点システムの導入を検討しております。</p> <p>資料1をご覧ください。デジタル採点システムとは、紙の答案用紙をスキャナーや複合機などで取り込んでデジタル画像化し、デジタル端末を用いて採点するためのシステムで、導入することにより、スピーディー且つ正確な返却とフィードバックを行い、教員の負担軽減にもつながると考えております。</p>

	<p>資料2をご覧ください。令和8年度の休日部活動の地域移行に向けて、部活動において教員に代わる指導や大会等への引率等を可能とした部活動指導員である「アッピー部活動コーチ」や技術指導に特化した外部指導者として「アッピー部活動サポーター」の増員を行いたいと考えております。</p> <p>これにより、働き方改革の中で最も比重の大きかった部活動の分野において教職員の負担軽減につなげることができると考えております。</p> <p>また、部活動地域移行推進事業の一環としては、資料3にございます、文化芸術に係る地域クラブ活動の設置第一弾であり、市内中学生を対象とした、土曜日に活動を行う英語クラブであるイングリッシュサロンの設立を計画しています。これは、令和5年度上尾市政策企画提案制度を活用し、「みんなで作る みんなが輝くまち あげお」を実現するため、市民が夢を持てる政策として学校教育部より提案し、認定された政策でございます。英語系の地域クラブの創設は全国初となる取り組みです。</p> <p>英語クラブでは、外国語指導助手等の支援による原則英語のみでの活動を展開し、小学生から参加が可能で、月に3回、市内公民館を会場とし実施します。楽しみながら英語に慣れ親しむ環境を作ることに、学校現場での英語の授業に加え、「生きた英語」に触れる場を設けることができ、「上尾市英語力向上プラン」に掲げる、「進んで英語を話せる上尾の子」の育成を促進できるとともに将来的には、海外とのオンライン交流や他会場とオンラインでつなぎディベート等での交流、自宅からのオンライン参加など国際交流やICT化の推進にも寄与できるものと考えます。</p> <p>さらに、スクールロイヤーの活用を検討しております。いじめや不登校、学校事故など、学校の管理運営に係る諸課題に対して、法務の専門家であるスクールロイヤーによる助言を受けて法的観点を踏まえた対応を行い、問題の未然防止や早期解決を図ることで、子どもたちが安心して通える学校づくりを目指していききたいと考えております。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>両部の「令和6年度の事業の展望」について一通り説明をいただきましたが、それを受け、市長からなにかございますか。</p>
<p>市長</p>	<p>今報告があった民間スイミングスクールを活用した水泳授業モデル事業については、昨年教育委員さんと一緒に見学させていただきました。児童生徒の楽しそうな表情が印象的で、室内のプールで行う専属のインストラクターによる指導は、とても学びやすい環境であると感じました。更なる拡充を行い、教育環境の推進に努めてほしいと思います。</p> <p>スクールロイヤーについては、事案が大きく発展してしまう前の初期対応の段階から、予防的に弁護士等に関わってもらうことで、速やかな問題解決につながり、子どもたちが安心して通える学校づくりはもちろんのこと、さらには教職員の負担軽減にもつながってくるかと</p>

<p>司会（市長政策室長） 教委事務局（学校教育部長）</p>	<p>思います。 デジタル採点システムの導入や部活動地域移行の推進につきましても教職員の負担軽減につながり、「学校における働き方改革」の推進に寄与できればよいと思います。 「学校における働き方改革」につきましては、新たな取り組みや現状はどのような状況でしょうか。 学校教育部の方でお答えいただいてもよろしいでしょうか。 令和5年11月の時間外在校等時間の状況についてご説明いたします。資料4をご覧ください。令和5年11月時点では、45時間を超える割合は、小学校が35.6%、中学校が48.6%でございます。80時間を超える割合は、小学校が0.2%、中学校が6.0%でございます。 今年度実施いたしました上尾市立小・中学校働き方改革推進委員会及び上尾市立小・中学校働き方改革懇談会におきまして、働き方改革を推進するための課題の一つとして、代替教職員の未配置・未補充の解消が取り上げられました。 教育委員会では、今年度、学校の仕事や教員免許の有効性等について相談できる窓口を設置し、これまで20件の相談をいただいております。また、令和5年12月23日には、臨時的任用教職員説明会を実施し、27名の出席がございました。今後の任用につなげ、代替教職員の未配置・未補充による負担が生じないように努めてまいります。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。それでは、教育委員の皆さんの「令和6年度の事業の展望について」説明を受けてのお考えをお聞かせ願いたいと思いますが、いかがでしょうか。谷島委員お願いします。</p>
<p>谷島委員</p>	<p>先ほど各部長から新年度に向けた新しいさまざまな取り組みを紹介され、特に働き方改革等につながるとも期待の持てる取り組み・事業だと感じていて、期待したいと思っています。その中で、働き方改革に関連して感じていることを一言申し上げさせていただきます。 私は、自分や自分の子供が通っていた地元の小学校でビオトープの清掃や蛍の飼育の手伝いをしているのですが、先日まだ17時半過ぎくらいなのに学校ががらんとしていて、普通の平日に車も一台もなく、以前聞いていた「ふれあいデー」と違うかなと思ってガラス窓から校舎内を覗き込んだら張り紙がしてあって「定時退勤ウィークです ライフワークバランスを調整して 仕事も楽しんでいきましょう」と張り紙が書いてあって、もぬけの殻だった。「ふれあいデー」ぐらいは知っていましたが、いま「退勤ウィーク」というものがあって、これは私が知らないだけで色々な学校でやっていることなのかもしれないですが、そういった取り組みが進んでいるんだなと感じまして、着実にその動きが進んでいるなと感じたのと同時に、この資料にもありますし、先日の定例会でも申し上げましたけども、かなり時間外在校等時間が減ってはいるものの、まだなかなか目標に達していない状況にあるようなので、ぜひこういう調査をこまめに行って、やはり実際に働い</p>

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ているこの教育委員会とか管理職だけじゃなくて現場の職員さんたちにも一緒になって状況を把握してもらって共有してもらうことで目標に向けて達成していくことが大事なんじゃないかなと思いましたが、意見としてこの場を借りて申し上げさせていただきます。</p> <p>ありがとうございます。 他に委員さんの方から、どうでしょうか。内田委員お願いします。</p>
<p>内田委員</p>	<p>スイミングスクールの民間委託ということで、昨年私も見学に行かせていただきましたが、子どもたちが喜んでいる姿ですとか、指導方法を見させていただいて、とてもいい取り組みだと思っております。</p> <p>ただ、民間スクールに限られておりますので、全部の子どもたちに同じように指導っていうのはなかなか難しいなと思っておりますので、それが一番の課題かなと思っております。ただ、やはり、子どもたちがきれいな水で暖かいところで、また、太陽の下で入るのも楽しいのかもきれいな環境で泳がせてあげるというのは、とてもいいことだと思っております。</p> <p>それから、働き方改革ですよね。時間外の状況について先ほどご説明がありましたけれども、この資料の結果を見ると、まだまだ45時間ですとか80時間を超えている先生方がいらっしゃるの、やはり色々取り組みを考えなくてはいけないことだなと思っておりますが、ただ令和4年度に比べますと、令和5年度は小学校ですと簡単に計算しますと、半数以上の方がそれ未満になっているということ、それから中学校におきましては、人数的にもかなり多くの方、160の方が45時間未満だということ、これは着実に実行されてきているなとも感じているところでございます。まだまだこれを減らしていかなくてはいけないことだと思っておりますが、実際取り組んできてこの結果があって、この後どれくらい減っていくかというのは、やっぱり難しくなってくるだろうと感じています。45時間とかの壁というのは特に中学校は部活動の指導、その改善がなされない限りこれ以上の減りというのは、ゆるやかな減りになってくるのではないかと感じています。部活動の平日の対策をどうなさっていくのかが一番の課題になってくるかなと感じています。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p> <p>大塚職務代理者</p>	<p>ありがとうございます。他に委員さんの方でどうでしょうか、大塚委員お願いします。</p> <p>次年度に向けてということで、色々な策をとっていただくことが理解できましたし、ありがたいと思います。</p> <p>時間外労働もこういう形でまだまだ数はありますけど、実績としては減っているという結果も出ていると思っておりますので、ぜひこの数字を減らしていくことを今後も続けていただきたいと思います。</p> <p>その中で、先ほどのスイミングの部分もありますが、部活動の外部委託ということで、この間教育委員会の方でも説明をいただいて土日祝に今後進めていくということもありますが、やはり土日だけじゃな</p>

	<p>く平日のところも十分なそういったところを考えていただいて、前にこの場で言ったこともあると思いますが、やはり個人の努力では限界があるということで、組織としていかにどういった形を作っていくかが大切だというふうに思いますので、上尾市として、教育委員会として、教員の皆様のこういった部分を減らしていくところを、組織として全体的に取り組んでいただいて数を減らしていくところを続けていただきたいと思います。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。他にどうでしょうか。小池委員お願いします。</p>
<p>小池委員</p>	<p>来年度に向けていろんな取り組みをチャレンジしていただいていることが伺えるかと思いますが、皆さんが言われているように働き方改革の一つとして、部活動の地域移行で令和6年度にはアッピー部活動コーチを今の11人から22人、部活動サポーターでも45名から57名に増やしていくというのは、非常に中学校の教師の皆さんが部活動に携わっていくなかで時間外労働の多くを占めているのはその辺りだと思うので、そういうところでサポートしていけるのはすごくいいなと思っています。あわせて、手始めとして、休日の部活動の地域移行というところで、今年度から取り組んでいくような感じになると思いますが、そちらの方も実現できていければ、だいぶ時間外労働の負担が減ってくるのではないかなと思いますので、ぜひ進めていただいております。あわせてスクールサポートスタッフの方というのも各学校でだいぶ要望があるということで、来年度時間を増やしていくということになっていると思うので、そちらの方も時間を増やしながらか、できれば人数も増やしていただいて、教職員のサポートができるようになっていければいいなと思っています。</p> <p>あと、市長が進めているなかで、イングリッシュサロンですよね。小学校一年生から英語に携われるようにというふうに上尾では小学校一年生から英語に携わる授業というのをやっていると思います。その中で、こういう休日土曜日、とりあえず土曜日だけということですけども、このような中で、英語に携わる、子どもが触れ合っていくというのは今後グローバル化や海外にどんどん進出していく人材を育てていく中で、すごくいい取り組みだなと思いますので、ぜひいろんな場所を拡充して広げていければと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。矢野委員お願い致します。</p>
<p>矢野委員</p>	<p>資料1・2・3で上尾市の取り組みは近隣市町と比較すると大変進んでいるなと印象を受けました。上尾の子供たちは幸せだなと思います。今小池委員からもありましたが、イングリッシュサロンとか画期的ですよね。ぜひともこれが私も拡充していくことを望みます。</p> <p>資料1にあります、デジタル採点システム。こういったことで教職員の事務的な業務が軽減されるというのも現場の教職員にとってもあ</p>

	<p>りがたいことだろうし、そのぶんというのもあれですが、個人的にはやはり授業の準備とそれから職員の会議もありますけども、最低限やらなきゃいけない仕事もかなり多い中で、事務作業にとられる時間が少なくなることはいいことだと思います。</p> <p>ただ、それは仕事が楽になるというのとはちょっと違うのですが、その時間が空く部分をもっと子供に接して行ってほしいなど。保護者や地域の方のそういった要望もあると思うのですが、例を挙げると、自分が現役の時に地域の方に声をかけられたことがあります。「昔の先生ってよく子どもと遊んでくれたよね。今の先生は学校終わってからあまり見ないよね」というような話をされたことがあります。もちろんそれがすべていいことか、また時代の変化もあるし、わかるのですが、そういう余裕というものがあればもっと子供を見てあげられる、変化に気付いてあげられる、というようなメリットがあるかと思うので、そういった教員の意識の変化というのが必要なのだらうなという気がします。</p> <p>また、部活動の地域移行の方も徐々にこういったコーチ・サポーターというのが増えてきていますので、今後も楽しみだなと思っています。</p> <p>それから、資料4の方で時間外の在校時間というのが少しずつ減ってきているというのは、もちろん取り組みとして効果が表れているところだと思います。ちょっとこれは時間がかかるだろうというふうに私は見えています。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございました。それでは、今2人の委員さんからイングリッシュサロンのことをかなり触れていただいたのですが、資料3を使って、もう少し追加で説明をしていただくことは可能でしょうか。</p>
<p>教委事務局（学校教育部長）</p>	<p>そうしましたら、具体的にどのような内容かというところでは、資料3を1ページめくっていただきまして、こんなことに取り組みますというところをご覧いただければと思います。テーマとしては、「小さな外国で生きた英語に触れる」ということで、先ほど説明しましたALTと楽しみながら英語をたくさん話す活動をするということです。主には、英語を使ったディスカッションやディベート・スピーチ、あと英語劇、こういったことを予定しているところです。月3回土曜日に各公民館で開催ということで、地域としては、市内4地域（※正しくは6地域）で予定をしており、オンラインでの参加も可能という形にしまして、なるべくたくさんの方に参加してもらえようという工夫をしてみたいと考えております。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。市長・各委員の皆様からさまざまなご意見をいただいたところでございます。ただ、こちらは予算案の状況ですので、議会の方での承認を得た場合にはスピード感をもって、推進していけるよう準備を進めていただきたいと思います。</p> <p>他にご意見が無いようでしたら次の議題2の方に入りますが、よろ</p>

教委事務局（学校教育部長）

しいでしょうか。

それでは、議題 2「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた緊急対策について」でございます。

今年度第 1 回目の上尾市総合教育会議でも触れさせていただきましたが、10 月 17 日付で文部科学省から令和 4 年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた緊急対策について」という通知が発出されたところでございます。

この通知では、各教育委員会にあっては、地方公共団体の長及び関係部局に対し、この調査結果及び各自治体の状況について共有を図るようにと示されております。

調査結果と今後の対応について、学校教育部長から説明をお願いいたします。

例年、文部科学省が実施しております、児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査につきまして、令和 4 年度の調査結果が出ております。調査結果につきましては、暴力行為・いじめの認知件数・30 日以上長期欠席者におきましては、全国的にも増加傾向でございましてこの傾向につきましては、本県本市におきましても同様の状況でございます。

資料 5 をご覧ください。本市におきます暴力行為の発生件数は、令和 3 年度の 111 件から令和 4 年度は 280 件と前年度比 152% の増加であり、直近 3 年間で最も多い件数でございしますが、暴力行為は、いじめと関連していることが多いため、令和 3 年度より暴力行為をケガの有無とか病院の診断書等々そういったことに限らず、積極的に認知するよう各上尾市立小・中学校長に依頼している中でこのような形になっております。

いじめの認知件数につきましては、令和 3 年度の 752 件から令和 4 年度は 839 件と前年度比 11.5% の増加でございします。様々な学校行事などがコロナ禍から明けまして再開されたことにより、コロナ禍よりも子ども同士の関わったり接触する機会が増加したことに加え、いじめ防止対策推進法の理解が進んだことにより、いじめと疑われる事案に対し、学校としても積極的な認知が行われたことが増加の一因になったと考えられます。暴力行為と同様、令和 3 年度よりいじめ認知を積極的に認知するよう各上尾市立小・中学校長に依頼をし、適切に対応していくことも指導しております。

30 日以上長期欠席の理由の一つとして不登校がございします。不登校に関しましては、小学校における不登校児童数は、令和 3 年度の 87 人から令和 4 年度の 126 人と前年度比 44.8% の増加となっております。中学校における不登校生徒数は、令和 3 年度の 257 人から令和 5 年度の 308 人と前年比 19.8% の増加となっております。コロナ禍から、学校生活が通常の状態に戻りつつある中で、やはり生活環境の変化による生活リズムが乱れやすい状況や、新たに交友関係を築かなければならないなど、そういったところで登校の意欲が湧きにくいことも背景にあったかと考えております。

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>今後も、引き続き、いじめ見逃しゼロを目指し、いじめの積極的な認知を行い、いじめ及び不登校の未然防止・早期解決に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>ありがとうございました。一通り説明をいただきました。コロナ禍による要因もあったかと思いますが、全てにおいて増加傾向にあることがわかるかと思えます。</p> <p>上尾市においても、令和4年7月からいじめ重大事態として対応を行ってきた事案について「上尾市いじめ問題調査委員会」が設置され、いじめ再発防止に向けて提言をいただきました。</p> <p>いじめ問題調査委員会からの提言に対して具体的に取り組んでいるかと思えます。</p> <p>いじめ問題に限らず、前回の総合教育会議以降の取り組みとして学校教育部長どうでしょうか。</p>
<p>教委事務局（学校教育部長）</p>	<p>いじめ重大事態の件につきまして説明をさせていただきたいと思いますが、提言を受けましてこれまで具体的な取り組みをしております。その中で大きく2点ほど本日は紹介したいと思います。</p> <p>1点目は「いじめを考える授業研究協議会」を実施いたしました。資料6をご覧ください。昨年12月12日になりますが、上尾市立富士見小学校6年3組小島嘉之教諭によるいじめを考える道徳の授業を実施していただきました。</p> <p>当日は、各上尾市立小・中学校生徒指導主任の先生方にも参加していただき授業参観・研究協議をいたしまして、いじめを許さない気運を醸成するための授業づくりや、学年・学級経営方法等について学び、いじめ問題に対する指導方法のノウハウ・力を向上してまいりました。</p> <p>指導者として、桶川市立桶川西中学校小野大雄校長を招き、いじめを考える道徳の授業及びいじめゼロの学校を目指してと題して具体的なご指導をいただきました。</p> <p>2点目は上尾市いじめ防止子供サミットの実施についてでございます。資料7をご覧ください。12月26日に、上尾市立富士見小学校体育館におきまして、上尾市内の小中学校の代表児童生徒に参加していただきまして、いじめ防止に向けた児童生徒が主体的かつ実践的な活動を行いました。</p> <p>具体的な内容といたしましては、いじめ防止に係る動画視聴をして、それを通じていじめの定義を理解するとともに、いじめを未然に防ぐためにはどうしたらいいかというような協議を行い、「上尾市いじめ防止子供サミット宣言」を採択いたしました。そして、そのサミット宣言に基づき、市内の小中学生が作成しました「なかよく 楽しい 学校生活を送るための標語」の一次審査ということで、その優秀な作品の選定を児童生徒にさせていただきました。</p> <p>不登校対策事業といたしましては、昨年度3月に上尾市不登校対策基本方針を策定し、今年度は、不登校児童生徒が学校外の公的機関や民間施設において相談や指導を受けている場合や、自宅等においてICT等を活用した学習活動を行った場合についての指導要録上の出欠</p>

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>の取扱い、民間施設等の連携状況について、上尾市不登校対策推進協議会で協議を進めており、今年度中にその取扱い等のガイドラインを策定する予定でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。今年度中にガイドラインの策定を、ということでした。「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」や提言に対する具体的な取り組みの説明を受け、市長ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。児童生徒の問題行動等の現状につきましては、わかりました。</p> <p>いじめの認知件数などの数値が年々増加傾向であることを、しっかりと受け止めてほしいと思います。</p> <p>児童生徒の問題行動等は、教育関係者のみならず、広く憂慮するところであり、その解決を図ることは緊急の課題となっているところがございます。</p> <p>児童生徒の問題行動等については、より正確に把握し、しっかりとした調査・分析を行い、また、先ほど説明いただいたスクールロイヤーの活用を検討するなど、これら問題に対する指導の一層の充実につなげてほしいと思っております。</p> <p>説明いただいた、「いじめを考える授業研究協議会」それから「いじめ防止子供サミット」の取り組みについても、とても良い取り組みであると思います。</p> <p>また、いじめ防止に向け、学校や児童生徒が主体的にいじめの問題に取り組み、解決につなげていく意識を高め、実行していくことが、いじめの未然防止に効果的であると考えております。引き続き、取り組んでいただきたいと思っております。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございました。それでは教育委員の皆様はどのようにお考えでしょうか。お考えをお聞かせ願いたいと思います。谷島委員お願いします。</p>
<p>谷島委員</p>	<p>こういった調査結果の資料をこれまでも何度もいただきまして、見るたびに数字が増えていく現状が続いているのが本当になかなか厳しい状況だと毎回感じるんですけども、やはり子供たちが悩みを持って気持ちが不安定な状況だということが、こういう結果に表れるのだらうという意味で言いますと、議会などでも話が出ていましたけれども、やはり相談窓口、スクールカウンセラーさんや、スクールソーシャルワーカーさんなど、そういった方々を増やしていくということが急務なのかなというのは感じます。</p> <p>ただ、そこに任せっきりになるわけではなくて、もっと当事者以外、当事者の親御さんなどはもちろん真剣に取り組んでいると思いますけれども、それ以外の部分でも、こういったことに関してどのように対策・対応をするべきなのか、あるいは実際にそういった状況から解消していく、いじめがなくなるあるいは不登校から通えるようになる、</p>

	<p>そういったところにどんな取り組みがあっていくのか、そんないろいろなノウハウとか知識とかを蓄積して、それを当事者以外にも、先生方、保護者、一般市民も含めてですけれども、どんどん広げていくことっていうのも大事なんじゃないかと感じているところです。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。たしかに今、谷島委員がおっしゃったように資料5の暴力行為の小学校のところの令和3年と令和4年を見比べると、令和3年から令和4年は数字だけで追いかけると3倍の数字、その下の方で30日以上欠席で小学校の「その他」というところが令和3年は48人ですが、令和4年は264人と5倍近く増えていると。数字だけを見るとすごく増えていると受け取れます。他に委員さん、どうでしょうか。大塚委員お願いします。</p>
<p>大塚職務代理者</p>	<p>その他の数というのは、どういったものなのでしょうか。</p>
<p>教委事務局（学校教育部長）</p>	<p>こちらについては、主たる理由としてその下に、新型コロナウイルスの感染回避とありますけれども、これは実際に本人が感染したとか、濃厚接触者で登校を止められた、というケースの件数なのですけれども、令和4年度に関しては、その他のところではそれ以外の感染不安で風邪症状でも休むということをここにカウントするということがありまして、計上した経緯でございます。ですが、30日以上欠席している中の主な欠席理由でございますので、それが30日全部それというわけではございませんので、その他病気とか不登校的な要因もあるなかで主なものというところで、カウントした結果ということなんです。</p>
<p>大塚職務代理者</p>	<p>ありがとうございます。こういった数を確認に見ると、本当に増えているというところではあるのですが、ただこれはやはり、積極的に認知するというところの結果というのもあると思いますので、これは教員の皆さんが認知しようと努力していただいているので、こういう数になっているということでもありますから、増えているというところではありますけど、これも認めるべきなのかなと思います。</p> <p>あとやはり、1件1件の事例それぞれが違いますので、そういった1件1件のところにどう寄り添っていけるかというところ、どう対応していくかというところが大きくなると思いますので、先ほど谷島委員からもありましたけれども、スクールソーシャルワーカーですとか、スクールカウンセラーですとか、そういった方々の対応というのが本当に大切になってくると思いますので、ぜひそういった方々を充実した人数で対応していただきたいと思います。</p> <p>あと、資料6・7にもありますが、こういった協議会やサミット、こういった生徒を含めた研修・集会はぜひ今後も続けていただいて、多くの生徒に参加していただいて、皆さんの意見を聞くと。生徒自身の言葉を聞くのも大切だと思いますので、ぜひこういったものは続けていただきたいと思います。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。ちなみに30日以上のカウントの仕方という</p>

<p>長)</p> <p>教委事務局 (学校教育部長)</p> <p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>のは連続して 30 日ではなくて、年間を通じて欠席日数が 30 日ということでしょうか。</p> <p>はい</p> <p>ありがとうございます。他に委員さんの方からどうでしょうか。それでは内田委員お願いします。</p>
<p>内田委員</p>	<p>資料 5 の暴力行為やいじめの問題について意見を述べさせていただきますと、令和 3 年度に比べて令和 4 年度が認知件数がとても増えていると出ていますが、教職員の皆様が敏感になってきている、定着してきているという表れかなと感じております。今まで見逃してきた部分も先生方の気づきが多くなっているからこの数字が上がってきているのかではないかなと感じているところでございます。</p> <p>また、長期欠席者の人数が増えてきているというのは、いじめの認知件数とはまた別の問題のように感じております。子供たちの生活的にどのように変わってきているのか、それに問題になってくるのは先生方がどれだけ時間を取られるか、それがまた働き方改革にもつながってきてしまうので、ぜひこの不登校問題については、上尾市で取り組んでいかななくてはいけないことだと思いますし、それにかかわる人材というのも本当にどうしていかななくてはいけないかなと感じているところでございます。</p> <p>それ以外のいじめサミット、資料 7 でございますが、こちらの方に出席させていただきまして、子どもたちの発言等を聞かせていただいたのですが、小学校 5 年生の子、それから中学生の子が混じってのサミットだったのですが、小学生の子どもが中学生のお兄さんお姉さんに物怖じせず発言をされているというのが、とてもよかったですね。やはり、学校の代表として参加されているということですから、いろんな意見を持って会に参加されているというのが、とてもいい場だったと思っております。</p> <p>ぜひ、子どもサミットということで、上尾市全体で行っていただけけれども、この子どもサミットが各学校でできないかなというのが、ご提案というか各クラスの代表が集まってサミットを行うとか、そういった場でいじめ防止につながるのではないかなというところは感じたところでございます。</p> <p>いじめの問題、それから不登校の問題、課題はまだまだあると思いますけれども一つ一つの取り組みがいろんな問題につながってくると思いますので、いい方向にいくようにいろんなご提案がいただければなと思います。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>ありがとうございます。今のいじめサミットについて、学校教育部からなにか追加で説明はありますか。</p>
<p>教委事務局 (学校教育部)</p>	<p>学校サミットですが、今後毎年やっていきたいと考えておりまして、時期的に 12 月のこの時期になるのですが、ちょうど 10 月・11 月に小・中学校の児童会・生徒会の役員が変わりますので、その成りた</p>

	<p>ての子たちが今回は中心となって集まっていただきました。それを受けて、実はこちらの取り組みとしても各学校でも取り組みを樹立させてほしいと。内田委員がおっしゃったような各学校でもその学校で主体となった取り組みというのが展開されるものと期待しております。その成果の1年間をまとめて、来年度新たに代表になった生徒がそれを引き継いで来年度のサミットにさらにつなげていく、というようなサイクルはできているというように考えています。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。他に委員さんからどうでしょうか。小池委員お願いします。</p>
<p>小池委員</p>	<p>委員の皆さんが言っているのと同じように数字だけ見ると増えているというように思いますが、やはりいま先生方が積極的に認知をいただいているというのが反映されて数が増えているのだろうなと思っています。</p> <p>上尾市のいじめ防止対策基本方針の中でも、先生方の意識として、いじめがないというふうに思わないで、いじめはあるというふうな意識をもって取り組んでいくというようなことが書いてありますので、そういった中で、今回のようなことが、数として多くなってくると思うのですが、先生たちがそこから見逃したりして重大事案とかにならないように注意していくということが大事だと思うのですが、先生方の意識というのもそういう取り組みのなかで意識を変えていただいて、いじめはないというような認識ではなく、いじめはあるかもしれないという認識をもって、なおかつあったときに、自分のクラスでいじめがあってそれは困るな、という意識をもって、いい加減な対応をしたりとか、隠ぺいしたりとかということがあると、そのあとがすごく重大な事案になってくるので、そういうことがないように先生方の指導、あとはいろんな講習とかそういうのに出ていただいて意識を改革していくことがすごく必要だなと思っています。</p> <p>子供たちに何もないうちに教えることが大事だと書いてあったので、そのなかで、子どもサミットというものはすごく有効的だなと思っています。これをもって、各学校に児童・生徒が戻ってそれを学校内に広げていって他の同じ在校生児童・生徒に共有していただいて、それを広げていってそれを年々つなげていけば、徐々に大きくは改革はならないと思いますが、徐々に減っていくふうな効果を表していくんじゃないかなとすごく期待しているところですので、今後とも続けていっていただきたいなと思います。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。積極的に認知、そして未然防止に早期解決、そのあたりが大事だなということですね。他にどうでしょうか。矢野委員お願いします。</p>
<p>矢野委員</p>	<p>表のデータから見ると、一番気になるのはやはり不登校とその他ですね、先ほどその他の質問もありましたが、不登校については小・中ともに同じくらいずつ増えていっている。学校で教職員が指導するこ</p>

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>とはできますが、来ない子たちの指導というのはすごく難しい。見えない部分が多いので、どうしても保護者の協力、学校と家庭が一緒に同じ方向を向いて子どもの健やかな成長を願う中で、一緒に取り組んでこういった不登校を無くしていかななくてはならないと思います。だからこそ、難しいのですが、なかなか保護者の価値観とか距離感も多様化してきている点もあるので、どうしても学校に来ていただいたり、家庭の方にいったりということも出てきますけれども、働き方改革のことを考えるとなかなか難しいところもあるんですが、やはり学校・家庭・地域の一体となった取り組みというのを今後も進めていくべきだろうと思います。</p> <p>ありがとうございます。他に委員さんの方から発言はありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>市長からも、現状の把握・調査・分析をしっかりと行うこと、主体的に取り組む未然防止につながるよう進めていくようお話がありました。引き続き、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、続きまして、議題3に移らせていただきます。議題3「その他」として、事務局の方なにかありますでしょうか。</p>
<p>事務局（市長政策室次長兼課長）</p>	<p>令和5年7月27日に教育委員会が公表いたしました上尾市いじめ問題調査委員会作成の調査報告書につきまして、同年12月25日に、市による再調査を要望する請願が、市議会において採択されたところでございます。</p> <p>それを受けまして、いじめ防止対策推進法及び上尾市いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例、こういった法や条例に照らし合わせながら、現在対応について検討を進めているところでございます。</p> <p>進捗がございましたら、報道機関等を通じましてお知らせさせていただきたいと考えておりますので、現状の報告をさせていただきました。</p> <p>また、次回の総合教育会議でございますが、来年度の夏頃を予定しておりまして、定例教育委員会に併せて開催したいと考えております。時期が近くなりましたらご連絡申し上げたいと思いますので、よろしく願います。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>他によろしいでしょうか。特に無いようでございますので、これで議事はすべて終了とさせていただきます。皆様の御協力ありがとうございました。</p> <p>それでは、会議の閉会にあたりまして、教育委員会を代表いたしまして、西倉教育長からご挨拶を賜りたいと存じます。</p>
<p>教育長</p>	<p>本日、今年度第2回目の総合教育会議ということで、畠山市長、そして教育委員の皆様と学校教育に関する部分で色々話ことができましたこと、まずもってお礼申し上げたいと思います。</p> <p>今日、議題として掲げられました、令和6年度に向けた諸政策、そしていじめの問題、不登校の問題、学校における働き方改革につつま</p>

司会（市長政策室長）	<p>しては、どれも教育委員会として大変重要な課題として、現在取り組んでいるところでございます。</p> <p>今日の総合教育会議で出されました皆様からのご意見を踏まえまして、今後も上尾市の小・中学校が、子どもたちにとっては楽しくて安心して過ごせるところ、教職員にとっては働きやすく、やりがいのある学校であるように、そういったものが継続できるように取り組んでまいりたいと思います。今後もこの総合教育会議が上尾市の学校教育をさらに発展させていくための様々な貴重なご意見頂戴できる場として、市長をはじめ、皆様から多くのご意見を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日は大変多くの貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>ありがとうございます。皆様、お疲れ様でした。以上で令和5年度第2回上尾市総合教育会議を閉会いたします。</p>
------------	--

